

## 原木しいたけほだ場の巡回指導の実施について

### 1 はじめに

遠野農林振興センターでは、安定した収量確保に必要な原木しいたけほだ化促進技術の向上を目的として、生産者毎のほだ場を巡回し、栽培指導を毎年行っています。

今般、この春に植菌したほだ木の伏せ込み状況(菌の活着状況)を確認し、今後の栽培管理に対する指導を行いましたので、その内容を紹介いたします。



ほだ木の菌回りの確認

### 2 巡回指導概要

令和5年7月18日、19日の2日間にかけて、森産業株の中村隆司氏を講師に招き、遠野市内の原木しいたけ生産者11名のほだ場を訪問し、指導を行いました。遠野市、遠野地方森林組合にも参加していただき、栽培管理指導と併せて各生産者の現状や今後の意向も聞き取りしました。



指導の様子

伏せ込んでいるほだ木を実際に割材して菌回りを確認したところ、本伏せしているほだ場では、ほだ化が順調に進んでいましたが、ほだ木をシートで覆って仮伏せしている場合は、水分量が不足し、菌回りが遅れている状況が確認されたため、生産者に対し、早めに林内のほだ場へ移動し、本伏せを行うよう指導しました。

また、植菌時の穴あけの深さ、植菌数が不足している例も確認されたため、生産者に対し、今後注意するよう指導を行いました。

### 3 今後の取組

今回、ほだ化の状況は概ね良好であると確認されました。9月頃には、秋期の指導会を実施する等、引き続き原木しいたけ生産の関係機関と連携しながら、遠野地域の生産者の単位収量が向上できるよう栽培管理に関する指導等の取組を実施していきます。